

文化学園大学杉並中学高等学校

中学入試

高校入試

住所 東京都杉並区阿佐ヶ谷南3-48-16

電話 03-3392-6636

FAX

URL <https://bunsugi.jp>

帰国生受け入れ開始年度 1990年ごろ

2019年度帰国生在籍数 中学1年:13人 中学2年:16人 中学3年:3人 高校1年:39人 高校2年:29人 高校3年:14人

帰国生のための部署/担当 国際部/国際部教頭 青井静男 先生

帰国生入試について					
出願資格・条件	原則として海外在留期間1年以上、帰国後3年以内				
出願書類	①志願票 ②海外在留証明書 ③成績・出欠席のわかる書類(国内)最新の通知表のコピー(海外)最新の成績表等のコピー ④(高等学校ダブルディプロマコース志願者のみ)学校担当者所見※本校所定用紙 ⑤英語の資格を証明する書類等のコピー				
過去3カ年の応募状況		出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	2019年	13	13	13	2
	2018年	36	36	35	15
	2017年	54	54	45	9
帰国生の編入試験について					
出願資格・条件	随時お問い合わせください				
実施時期	随時受け付けます				
クラス配置・一般生との位置づけ					
本校は帰国生が多いので、クラス配置に関しては各クラス均等人数になるように配慮しています。どのコースでも各クラスに帰国生の生徒がいますが、一般生とも分け隔てなく仲良く交流しています。本校では行事等に関する一般生・帰国生との隔てはなく、全ての行事も一緒に参加します。					
外国語・日本語の指導、取り出しや補習など					
中学の英語の授業に関しては2級以上の生徒に対しては取り出しでハイレベルの授業を行っています。その他の生徒に関しても各クラス英語の授業の時間をあわせ全体を4分割してレベル別に授業を行っています。また中高帰国生の生徒に対して2014年度より月・水・木 7:30~8:00の間国語の力が不安な生徒に対して公文式学習を取り入れています。本校教員が一般の公文式教室の教材・指導法と同じ形式で生徒の国語レベルに合わせてそれぞれのペースで学習することができます。					
入試に向けての事前準備や意識しておいてほしいこと					
帰国生入試では、英語の試験の得点を英語の資格に応じて点数換算を行います。例えば中学入試では英検準2級で満点、高校入試では英検2級で満点になります。帰国前に英検などの資格を取得しておくといでしょう。合格判定は3科目のうち得点の高い2科目で判定するので、英語が得意な生徒は、残りの国語数学のどちらかをしっかり勉強しておくことが大事です。また面接では海外にいた時の様子などが聞かれますので、現地でのどんな体験をしたかなどまとめておくことも必要です。また面接は日本語でも英語でもどちらでも可能です。					
帰国生の卒業後の進路・進学状況について					
近年の帰国生の卒業後の進路としては、早稲田・上智・ICUなど語学に強い大学への進学を決めています。また高い英語力を使って多くの4年制大学へ進学しています。海外在住経験を生かしAO入試などでも活躍しています。					
留学制度や海外大学進学支援体制について					
短期プログラムではフィリピン・セブ島での語学研修旅行、イギリスでの語学研修旅行があります。(各2週間)中期プログラムでは現地校で学ぶオーストラリアアデレードでの3ヵ月留学があります。海外大学進学希望者に対しての担当教員が個別にカウンセリングを行っています。					
帰国生や海外在住生徒保護者へのメッセージ					
英語力が高い生徒に関しては、中学2年次からはダブルディプロマ準備コースがお勧めです。カナダBC州の教員が「英語で」理数系の科目の授業を教えます。高校ダブルディプロマコースは、日本とカナダのカリキュラムを同時並行で行い、卒業時には日本とカナダの2つの卒業資格を取得することができる日本初のコースです。国内生としてだけでなく国外生としても出願ができ、さらにBC州の生徒として海外大学へのダイレクトに出願ができます。日本初のグローバルなプログラムがここにあるので帰国生も安心して学習することができます。					
帰国生対象の英語教室や各種講座について					
特に帰国生を対象とした講座はありませんが、本校では放課後講習・休業中の講習として国公立受験まで対応できる各科目の講習があります。また外部予備校の講師を招いて受験に対する講習や小論文指導も行っています。また夏期休業中に高校特進コースは全員勉強合宿に参加し、受験生としての土台作りを行います。					